

滝沢市内の空間放射線量率測定結果（地表面から 50cm の線量・年間線量）の推移（同時期比較）

（自然放射線を含んだ値です。）

単位；（上段） $\mu\text{Sv}/\text{時}$ 、（下段） $\text{mSv}/\text{年}$

調査地点名		測定日	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
		7.1 (第1回)	6.13 (第5回)	6.25 (第7回)	6.24 (第9回)	6.24 (第11回)	6.8 (第13回)	6.13 (第15回)	
北部地区	北部コミュニティセンター	0.10	0.06	0.05	0.04	0.04	0.03	0.03	
		0.53	0.32	0.26	0.21	0.21	0.16	0.16	
東部地区	市道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	—	0.08	0.08	0.07	0.05	0.04	0.04	
		—	0.42	0.42	0.37	0.26	0.21	0.21	
	滝沢駅前広場	—	0.08	0.07	0.06	0.05	0.05	0.04	
	東部出張所	—	0.42	0.37	0.32	0.26	0.26	0.21	
		0.12	0.07	0.06	0.05	0.05	0.03	0.04	
		0.63	0.37	0.32	0.26	0.26	0.16	0.21	
中央地区	埋蔵文化財センター	—	0.07	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05	
		—	0.37	0.32	0.26	0.26	0.21	0.26	
	ふるさと交流館	—	0.06	0.05	0.05	0.04	0.04	0.04	
		—	0.32	0.26	0.26	0.21	0.21	0.21	
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.07	0.04	0.03	0.03	0.03	0.02	0.02	
		0.37	0.21	0.16	0.16	0.16	0.11	0.11	
南部地区	滝沢市役所	0.10	0.06	0.06	0.05	0.05	0.04	0.05	
		0.53	0.32	0.32	0.26	0.26	0.21	0.26	
	小岩井グランド	0.07	0.03	0.04	0.03	0.03	0.03	0.03	
		0.37	0.16	0.21	0.16	0.16	0.16	0.16	

備考1 文部科学省・厚生労働省による「避難区域等の外の地域の学校等の校舎・校庭等の利用判断に係る暫定的考え方」に基づく屋外活動の制限の指標である「 $3.8\mu\text{Sv}/\text{時}$ 」（ $=20\text{mSv}/\text{年}$ ）を下回っています。

また、両省は、自然放射線から受けるもの以外の外部被ばくの放射線量（外部線量）については、年間 1mSv 以下が望ましいとしておりますが、今回の空間放射線量率から算出した年間線量の値はいずれも、この値（ $1\text{mSv}/\text{年}$ ）を下回っています。

2 年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※ 1mSv （ミリシーベルト）は $1000\mu\text{Sv}$ （マイクロシーベルト）となります。

3 各回の測定結果については、それぞれの測定結果をご確認ください。

第15回

1. 平成29年6月13日、前回と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を定点測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.02から0.05までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢市内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成29年6月13日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.03	0.03	0.16
東部地区	市道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.04	0.04	0.21
	滝沢駅前広場	0.04	0.04	0.21
	東部出張所	0.04	0.04	0.21
中央地区	埋蔵文化財センター	0.05	0.05	0.26
	ふるさと交流館	0.04	0.04	0.21
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.02	0.02	0.11
南部地区	滝沢市役所	0.05	0.04	0.26
	小岩井グラウンド	0.03	0.02	0.16

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS172B）

測定実施者：滝沢市環境課

第14回

1. 平成28年11月16日、前回と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を定点測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.02から0.05までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢市内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成28年11月16日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cm の年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.03	0.03	0.16
東部地区	市道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.04	0.04	0.21
	滝沢駅前広場	0.04	0.04	0.21
	東部出張所	0.04	0.03	0.21
中央地区	埋蔵文化財センター	0.05	0.04	0.26
	ふるさと交流館	0.04	0.04	0.21
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.03	0.02	0.16
南部地区	滝沢市役所	0.04	0.04	0.21
	小岩井グラウンド	0.03	0.03	0.16

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS172B）

測定実施者：滝沢市環境課

第13回

1. 平成28年6月8日、前回と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を定点測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.02から0.05までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢市内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成28年6月8日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.03	0.03	0.16
東部地区	市道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.04	0.04	0.21
	滝沢駅前広場	0.05	0.04	0.26
	東部出張所	0.03	0.04	0.16
中央地区	埋蔵文化財センター	0.04	0.04	0.21
	ふるさと交流館	0.04	0.03	0.21
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.02	0.02	0.11
南部地区	滝沢市役所	0.04	0.04	0.21
	小岩井グラウンド	0.03	0.03	0.16

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS172B）

測定実施者：滝沢市環境課

第12回

1. 平成27年11月24日、前回と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を定点測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.04から0.06までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢市内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成27年11月24日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.04	0.04	0.21
東部地区	市道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.05	0.05	0.26
	滝沢駅前広場	0.06	0.06	0.32
	東部出張所	0.06	0.05	0.32
中央地区	埋蔵文化財センター	0.05	0.05	0.26
	ふるさと交流館	0.05	0.04	0.26
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.04	0.04	0.21
南部地区	滝沢市役所	0.05	0.05	0.26
	小岩井グラウンド	0.04	0.04	0.21

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS172B）

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

第 1 1 回

1. 平成 27 年 6 月 24 日、前年度と同箇所の公共用地 9 か所において空間放射線量率を定点測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.03 から 0.05 までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢市内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成 27 年 6 月 24 日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cm の年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.04	0.04	0.21
東部地区	市道畜産試験場線と国道 282 号の交差点付近	0.05	0.05	0.26
	滝沢駅前広場	0.05	0.05	0.26
	東部出張所	0.05	0.05	0.26
中央地区	埋蔵文化財センター	0.05	0.05	0.26
	ふるさと交流館	0.04	0.04	0.21
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.03	0.03	0.16
南部地区	滝沢市役所	0.05	0.05	0.26
	小岩井グラウンド	0.03	0.03	0.16

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS172B）

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

第10回

1. 平成26年11月25日、前年度と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を定点測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.03から0.06までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢市内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成26年11月25日

調査地点名		地表面から 50cm μSv/時	地表面から 1m μSv/時	50cmの年間線量 mSv/年
北部地区	北部コミュニティセンター	0.04	0.04	0.21
東部地区	市道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.06	0.06	0.32
	滝沢駅前広場	0.06	0.05	0.32
	東部出張所	0.05	0.04	0.26
中央地区	埋蔵文化財センター	0.05	0.05	0.26
	ふるさと交流館	0.05	0.04	0.26
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.03	0.03	0.16
南部地区	滝沢市役所	0.05	0.05	0.26
	小岩井グラウンド	0.03	0.03	0.16

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS-172B）

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv/年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv/時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv/時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000μSv（マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。

第9回

1. 平成26年6月24日、前年度と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を定点測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.02から0.07までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢市内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成26年6月24日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.04	0.04	0.21
東部地区	市道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.07	0.06	0.37
	滝沢駅前広場	0.06	0.05	0.32
	東部出張所	0.05	0.05	0.26
中央地区	埋蔵文化財センター	0.05	0.05	0.26
	ふるさと交流館	0.05	0.05	0.26
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.03	0.02	0.16
南部地区	滝沢市役所	0.05	0.05	0.26
	小岩井グラウンド	0.03	0.03	0.16

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS-172B）

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000 μSv （マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。

第8回

1. 平成25年11月21日、前回と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.03から0.07までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢村内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成25年11月21日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.04	0.04	0.21
東部地区	村道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.07	0.06	0.37
	滝沢駅前広場	0.06	0.06	0.32
	東部出張所	0.05	0.05	0.26
中央地区	埋蔵文化財センター	0.06	0.05	0.32
	ふるさと交流館	0.05	0.05	0.26
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.03	0.03	0.16
南部地区	滝沢村役場	0.05	0.05	0.26
	小岩井グラウンド	0.04	0.04	0.21

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS-172B）

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000 μSv （マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。

第7回

1. 平成25年6月25日、前回と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.03から0.08までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢村内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成25年6月25日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.05	0.04	0.26
東部地区	村道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.08	0.07	0.42
	滝沢駅前広場	0.07	0.06	0.37
	東部出張所	0.06	0.05	0.32
中央地区	埋蔵文化財センター	0.06	0.05	0.32
	ふるさと交流館	0.05	0.05	0.26
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.03	0.03	0.16
南部地区	滝沢村役場	0.06	0.05	0.32
	小岩井グラウンド	0.04	0.04	0.21

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS-172B）

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000 μSv （マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。

第6回

1. 平成24年11月22日、前回6月13日の測定と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.03から0.08までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢村内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成24年11月22日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 mSv/年
北部地区	北部コミュニティセンター	0.05	0.05	0.26
東部地区	村道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.08	0.08	0.42
	滝沢駅前広場	0.07	0.06	0.37
	東部出張所	0.06	0.06	0.32
中央地区	埋蔵文化財センター	0.06	0.06	0.32
	ふるさと交流館	0.05	0.06	0.26
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.03	0.03	0.16
南部地区	滝沢村役場	0.05	0.06	0.26
	小岩井グラウンド	0.04	0.04	0.21

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS-172B）

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000 μSv （マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。

第5回

1. 平成24年6月13日、前回3月13日の測定と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.03から0.08までの値でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。

○滝沢村内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成24年6月13日

調査地点名		地表面から 50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区	北部コミュニティセンター	0.06	0.05	0.32
東部地区	村道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	0.08	0.08	0.42
	滝沢駅前広場	0.08	0.06	0.42
	東部出張所	0.07	0.06	0.37
中央地区	埋蔵文化財センター	0.07	0.06	0.37
	ふるさと交流館	0.06	0.06	0.32
西部地区	滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.04	0.03	0.21
南部地区	滝沢村役場	0.06	0.05	0.32
	小岩井グラウンド	0.03	0.04	0.16

測定機器：日立アロカメディカル株式会社製シンチレーション式サーベイメータ（TCS-172B）

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000 μSv （マイクロシーベルト）となります。

第4回

- 平成24年3月13日、前回11月28日の測定と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を測定しました。

※1か所については、積雪が多いため欠測となりました。

- 今回の測定の結果は、0.03から0.06までの範囲でした。前回と比べ測定値が低くなりましたが、これは積雪による放射線の遮へいと測定機器の変更によるものと考えられます。

○滝沢村内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成24年3月13日

調査地点名	地表面から50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	積雪	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区 北部コミュニティセンター	0.05	あり	0.26
東部地区 東部出張所	0.06	なし	0.32
西部地区 滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.03	あり	0.16
南部地区 小岩井グラウンド	0.03	あり	0.16
滝沢村役場	0.04	あり	0.21
東部地区 砂込地内 村道畜産試験場線と国道282号の交差点付近	欠測	40cm以上	—
東部地区 滝沢駅前広場	0.06	あり	0.32
中央地区 埋蔵文化財センター	0.06	あり	0.32
中央地区 ふるさと交流館	0.06	なし	0.32

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000 μSv （マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。

注3：平成23年7月1日から同年11月28日までの測定器 Ludlum Measurement, Inc 社製 シンチレーション式サーベイメータ（MODEL3）。平成24年3月13日以降の測定器 日立アロカメディカル株式会社製 シンチレーション式サーベイメータ（TCS-172B）。

これまで滝沢村では、原発事故以降、エネルギー補償型シンチレーション式サーベイメータが手に入らないことや、村内の原発事故によるセシウムの影響を迅速に把握する必要があることから、業務委託によりエネルギー無補償型シンチレーション式サーベイメータ（MODEL3）での調査を実施していましたが、今後はエネルギー補償型シンチレーション式サーベイメータ（TCS-172B）を基本として空間放射線量の測定を実施してまいります。

この放射線量測定器は、平成 23 年 12 月 14 日に環境省より公布となった「平成二十三年三月十一日に発生した東北地方太平洋沖地震に伴う原子力発電所の事故により放出された放射性物質による環境の汚染への対処に関する特別措置法施行規則」において示された汚染状況重点調査地域の適合判断の調査で原則として使用することが決められた“エネルギー補償型”になります。

シンチレーション式サーベイメータには、主としてエネルギー無補償型とエネルギー補償型の 2 種類があります。エネルギー無補償型は、放射性物質の種類によって異なるガンマ線のエネルギーの強さを考慮しませんが、エネルギー補償型は考慮することが可能です。どちらもセシウム 137 のエネルギーの強さが基準となるよう調整されていますので、放射性物質の種類としてセシウムが優勢な場所では同等の測定値が期待できます。ただし、比較的線量の低い場所で測定した場合は、エネルギー無補償型は測定値に誤差が出ることがあります。MODEL3 で計測された値は、TCS-172B に比べて若干値が大きくなる傾向があります。(約 1.6 倍程度)

第3回

1. 平成23年11月28日、前回8月1日の測定と同箇所の公共用地9か所において空間放射線量率を測定しました。
2. 今回の測定の結果は、0.05から0.15までの範囲でした。前回と比べ大きな変化はありませんでした。
3. 7月1日に測定を始めた5箇所につきましては、5ヶ月を経過しましたがほぼ同数値の結果となっています。

○滝沢村内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成23年11月28日

調査地点名	地表面から50cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 $\text{mSv}/\text{年}$
北部地区 北部コミュニティセンター	0.09	0.09	0.47
東部地区 東部出張所	0.11	0.11	0.58
西部地区 滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.05	0.05	0.26
南部地区 小岩井グラウンド	0.07	0.07	0.37
滝沢村役場	0.10	0.09	0.53
東部地区 砂込地内 村道畜産試験場 線と国道282号の交差点付近	0.15	0.14	0.79
東部地区 滝沢駅前広場	0.13	0.13	0.68
中央地区 埋蔵文化財センター	0.12	0.11	0.63
中央地区 ふるさと交流館	0.10	0.09	0.53

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000 μSv （マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。

第2回

- 平成23年8月1日、滝沢村内の公共用地（9箇所）において村内の空間放射線量率（地表）を測定しました。前回（7月1日）測定した東西南北の各地区及び役場の計5箇所に「前回調査地点のなかった中央地区」～「前回調査で他地区に比べてやや高目の値であった東部地区」を約4kmメッシュに1箇所の割合で選定した4箇所を加えた9箇所です。
- 今回の測定結果、空間放射線量率（ $\mu\text{Sv}/\text{時}$ ）は、0.04から0.14までの範囲でした。
これは、文部科学省・厚生労働省による「避難区域等の外の地域の学校等の校舎・校庭等の利用判断に係る暫定的考え方」に基づく屋外活動の制限の指標である「 $3.8\mu\text{Sv}/\text{時}$ 」（ $=20\text{mSv}/\text{年}$ ）を下回っています。
また、両省は、自然放射線から受けるもの以外の外部被ばくの放射線量（外部線量）については、年間1mSv以下が望ましいとしておりますが、今回の空間放射線量率から算出した年間線量の値はいずれも、この値（1mSv/年）を下回っています。
- 今回の測定結果から、本村としては、引き続き村民の方々の日常生活や学校生活等において放射性物質が健康に影響を与える状況ではないと考えています。また、次回の放射線量率測定実施については、状況の変化等により検討しますが、現在のところは未定です。

○滝沢村内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成23年8月1日

調査地点名	地表面から 50 cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 mSv/年
北部地区 北部コミュニティセンター	0.09	0.09	0.47
東部地区 東部出張所	0.11	0.11	0.58
西部地区 滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.04	0.04	0.21
南部地区 小岩井グラウンド	0.07	0.06	0.37
滝沢村役場	0.10	0.09	0.53
東部地区 砂込地内 村道畜産試験場 線と国道282号の交差点付近	0.14	0.14	0.74
東部地区 滝沢駅前広場	0.13	0.13	0.68
中央地区 埋蔵文化財センター	0.12	0.11	0.63
中央地区 ふるさと交流館	0.10	0.10	0.53

測定機器：NaI(Tl)シンチレーション式サーベイメータ Model44-2(Ludlum社製(米国)製)

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times$$

365 日 ÷ 1000

※1mSv（ミリシーベルト）は 1000 μ Sv（マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。

第1回

1. 平成23年7月1日、村内の空間放射線量率（地表）を滝沢村内の公共用地（5箇所）において測定しました。
2. 今回の測定結果、空間放射線量率（ $\mu\text{Sv}/\text{時}$ ）は、0.05から0.12までの範囲でした。
これは、文部科学省・厚生労働省による「避難区域等の外の地域の学校等の校舎・校庭等の利用判断に係る暫定的考え方」に基づく屋外活動の制限の指標である「 $3.8\mu\text{Sv}/\text{時}$ 」（ $=20\text{mSv}/\text{年}$ ）を下回っています。
また、両省は、自然放射線から受けるもの以外の外部被ばくの放射線量（外部線量）については、年間1mSv以下が望ましいとしておりますが、今回の空間放射線量率から算出した年間線量の値はいずれも、この値（1mSv/年）を下回っています。
3. 岩手県の調査及び今回の測定結果から、本村としては、引き続き村民の方々の日常生活や学校生活等において放射性物質が健康に影響を与える状況ではないと考えています。また、次回の放射線量率測定実施については、状況の変化等により検討します。

○滝沢村内の放射線量測定結果（自然放射線を含んだ値です。）

測定日：平成23年7月1日

調査地点名	地表面から 50 cm $\mu\text{Sv}/\text{時}$	地表面から 1m $\mu\text{Sv}/\text{時}$	50cmの年間線量 mSv/年
北部地区 北部コミュニティセンター	0.10	0.10	0.53
東部地区 東部出張所	0.12	0.12	0.63
西部地区 滝沢相の沢温泉「お山の湯」	0.05	0.05	0.26
南部地区 小岩井グラウンド	0.07	0.07	0.37
滝沢村役場	0.10	0.09	0.53

測定機器：NaI(Tl)シンチレーション式サーベイメータ Model144-2(Ludlum社製(米国)製)

測定実施者：エヌエス環境株式会社盛岡支店

注1：年間線量は、文部科学省・厚生労働省による次の算定方法に基づき算出しました。

$$(\text{年間線量}) \text{ mSv}/\text{年} = [(\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 8 \text{ 時間} + (\text{測定値}) \mu\text{Sv}/\text{時} \times 0.4 \times 16 \text{ 時間}] \times 365 \text{ 日} \div 1000$$

※1mSv（ミリシーベルト）は1000 μSv （マイクロシーベルト）となります。

注2：同地点でも地表の状況で測定値は若干異なります。